



* 2013年1月18日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および
関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」
(<http://www.ge.com/investor-relations/events/earnings-report> *英語のみ) をご覧下さい。

GE、2012年度第4四半期および通年の業績を発表

2012年第4四半期の1株当たり営業利益(Operating EPS)は13%増の0.44ドル
第4四半期の売上高は4%増の393億ドル、2012年通年での産業分野事業の売上内部成長率は8%
当四半期の営業利益率は前年同期比120ベースポイント増、通年では前年比30ベースポイント増加
受注残高は過去最高の2,100億ドル
第4四半期におけるGEの営業活動によるキャッシュフロー(CFOA)は72億ドル、通年では48%増の178億ドル

2012年度第4四半期および通年の決算ハイライト

- 11四半期連続で営業利益が大幅に増加
 - ✓ 第4四半期の1株当たり営業利益(Operating EPS)は13%増の0.44ドル、通年では16%増の1.52ドル(前年第3四半期の優先株償還による影響を除くと10%増)
 - ✓ 当四半期の継続事業からの1株当たり利益(EPS)は11%増の0.41ドル、通年では12%増の1.39ドル
- 2四半期連続で産業分野事業すべての部門が増益
 - ✓ 同事業7部門のうち5部門で2桁増益達成
- 第4四半期の受注高は7%増(風力タービンおよび為替の影響を除く)、成長地域での受注高は12%増
- 当四半期の利益率は前年同期比120ベースポイント増、産業分野事業の全7部門で利益率が向上
- 第4四半期におけるGEキャピタルの利益は9%増の18億ドル、GEキャピタル・コーポレーション(GECC)のTier1普通資本は10.2%
 - ✓ 当四半期のGEキャピタルの期末純投資額残高は4,190億ドル

2013年1月18日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2012年第4四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は前年同期比13%増の47億ドル、1株当たり営業利益も同13%増の0.44ドルとなりました。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益は9%増の43億ドル、1株当たりに換算すると11%増の0.41ドルとなりました。当四半期の売上は4%増の393億ドル、通年では1,474億ドルとなりました。当四半期における産業分野事業の売上内部成長率は4%、通年では8%となりました。

GEのジェフ・イメルト会長兼CEOは次のように述べています。「複雑な世界経済情勢にもかかわらず、第4四半期の堅調な業績をもって今年度を終えることができました。先進国市場の見通しは引き続き不透明ですが、中国および資源国では成長が見られます。当四半期に過去最高の受注残および、相当額のキャッシュを生み出したことで、2013年度に向けた機運(モメンタム)が高まりました」。

産業分野事業の第4四半期利益は12%増の49億ドルとなりました。同事業の全部門で2四半期連続増益となり、7部門のうち5部門で2桁増益を達成しました。また当四半期、同事業の全部門で利益率が改善し、産業分野事業全体で前年同期比120ベースポイント増となりました。第4四半期のインフラストラクチャー事業の受注高は2%増の285億ドル(風力タービンの受注減および為替の影響を除くと7%増)でした。設備・機器の出荷受注(Book-to-Bill)比率は1.2でした。GEの設備・機器およびサービスの当四半期末受注残は過去最高の2,100億ドルとなりました。

産業分野事業の成長市場における第4四半期売上高は9%増(為替の影響を除く)、通年では、ロシア、オーストラリア/ニュージーランド、南米、中国、サハラ以南のアフリカおよびASEAN諸国の2桁成長が牽引し、11%増となりました。

第4四半期のインフラストラクチャー事業の受注価格は0.5%上昇し、同事業6部門のうち、オイル&ガス、エナジーマネジメント、アビエーション、トランスポートを含む4部門で設備・機器の受注高が2桁成長となりました。GEは当四半期、ブラジル石油公社Petrobrasから4億ドル規模のターボマシナリーを受注しました。また、シェブロン社のLionzi海底油田プロジェクトにおける石油生産設備2億ドルの受注、およびブラジルRenova Energia社とのGE製1.68-82.5型風力タービン230基に関する4億ドル規模の契約締結を発表しました。また、CFMインターナショナル(GEと仏スネクマ社の折半出資による合弁会社)は、アラスカ航空から過去最高規模となるボーイング737新造機50機分のCFM製エンジン購入確約を得たことを発表しました。

2012年は、当社の長期的な研究開発投資が実を結び、超音速ジェットエンジン向けに設計されたガスタービンを組み込んだ新型発電技術 FlexEfficiency™60 など複数の新製品を展開してきました。また、GE トランスポートは米国の厳格な排出規制に対応する新型燃焼システムを搭載した、同社史上最高の燃費を誇る貨物機関車である Tier 4 規制対応 Evolution[®]シリーズ機関車試作品を発表しました。インダストリアル・インターネット関連アプリケーションでは、エネルギー、ヘルスケア、航空、鉄道、製造業を含む産業向けに 9 種類の新たなサービス技術を発表しました。

GE キャピタルは、事業規模縮小および金融サービス事業としての選択と集中という戦略が順調に進み、堅調な利益を達成しました。当四半期、GE キャピタルの利益は 9%増加し、期末純投資額残高は 4,190 億ドルとなりました。コマーシャル・リアルエステート部門は、資産を 150 億ドル圧縮し、純利益が 8 億ドルに増加しました。当四半期、GE キャピタル・コーポレーション(GECC)は親会社である GE に 10 億ドルを配当金として還元し、今年度累計の配当実績が 64 億ドルとなりました。同社の Tier 1 普通資本比率は 10.2%を保持しました。

GE の営業活動によるキャッシュフロー(CFOA)は、2012 年通年で 48%増の 178 億ドルとなり、第 4 四半期では全社合計で 72 億ドル、産業分野事業では 62 億ドルと堅調でした。当四半期における現金および現金同等物の連結期末残高は 770 億ドルでした。

GE は引き続き、バランスのとれた資本配分計画を実施しており、潤沢なキャッシュを使い、第 4 四半期に 21 億ドル規模の自社株買い(2012 年通年では 52 億ドル)を実行できました。2012 年度、当社は配当および自社株買いという形で、124 億ドルの株主還元を実行しました。GE 取締役会は 12 月、3 年間で 5 回目となる増配決議を行い、12%の増配(発行済み普通株 1 株当たり 0.19 ドル)が採択されました。

また GE は当四半期、イタリアの航空関連部品・システム製造企業 Avio S.p.A.社からの航空関連事業買収契約を発表しました。買収金額は、2012 年の予想 EBITDA（金利・税金・償却前）利益の約 8.5 倍に相当する 43 億ドルです。GE アビエーションその他エンジンメーカーへの部品供給者である Avio 社の航空関連事業を買収したことで、航空業界でもっとも魅力的なセクターのひとつであるジェットエンジン事業でのさらなる成長が可能となります。

「第 4 四半期は不透明な財政環境に直面しましたが、GE 一丸となって力強い実行力を発揮しました。高水準の受注残および利益率上昇に向けたモメンタムをもとに、2 桁増益・産業分野事業の堅調な売上内部成長・GE キャピタルから GE へ相当額のキャッシュ還元・利益率の更なる増大・株主へのキャッシュ還元という 2013 年度事業見通しを達成する準備が整っています」とイメルトは述べています。

2012年第4四半期および通年の決算ハイライト

2012 年第 4 四半期の営業利益は、前年同期比 13%増の 47 億ドル、1 株当たり営業利益は同 13%増の 0.44 ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの（GE に帰属する）継続事業からの利益は前年同期比 9%増の 43 億ドル、1 株当たり換算すると 11%増の 0.41 ドルとなりました。当四半期に利益を計上した一過性の要因（1 株当たり 0.01 ドル）が、事業再編その他費用（1 株当たり 0.02 ドル）により相殺されました。

非継続事業の実績を含めると、2012 年第 4 四半期の GE に帰属する純利益は 40 億ドル（普通株 1 株当たり 0.38 ドル）となりました。前年同期の実績は 37 億ドル（普通株 1 株当たり 0.35 ドル）でした。

2012 年第 4 四半期の売上高は、前年同期比 4%増の 393 億ドルでした。産業分野事業の売上高は同 2%増の 273 億ドルでした。GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の売上は前年同期比 2%増の 118 億ドルとなりました。

2012 年通年の営業利益は、前年の 149 億ドルから 8%増の 161 億ドル、1 株当たり営業利益は同 16%増、2011 年第 3 四半期の優先株償還による影響を除くと 10%増の 1.52 ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの（GE に帰属する）継続事業からの利益は前年比 3%増の 147 億ドル、1 株当たり換算すると 12%増の 1.39 ドルとなりました。

非継続事業の実績を含めると、2012 年通年の GE に帰属する純利益は 136 億ドル（普通株 1 株当たり 1.29 ドル）となりました。前年の実績は 142 億ドル（普通株 1 株当たり 1.23 ドル）でした。

2012 年通年の売上高は前年並みの 1,474 億ドルでしたが、2011 年の NBC ユニバーサル売却による税引前利益 37 億ドルを除くと 3%増となりました。産業分野事業の売上高は前年比 6%増の 1,009 億ドルでした。GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の売上は前年比 6%減の 460 億ドルとなりました。

GE の営業活動による 2012 年度キャッシュフロー総額は、前年の 121 億ドルから 48%増の 178 億ドルとなりました。GE 産業分野事業の営業活動による同キャッシュフロー総額は前年比 5%減の 114 億ドルとなりました。

注：別紙の財務諸表には当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GE について

GE は、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本において GE は、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とする GE は、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それが GE です。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「探し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。

「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、欧米における欧州公的債務問題およびそれに係る将来的な市場混乱、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融における過払い金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況(GE Money Japan)、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得る WMC のモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、GECC が計画通りに GE へ配当を支払う能力、当社の客先である主要産業(航空会社、鉄道、エネルギー生産、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業)からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令の影響を含む)、買収・合併事業・売却など戦略的行為や、発表済みの案件完了や買収した事業の統合における当社の成功、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部

TEL: 03-3588-9500

日本 GE 広報代理(ウェーバー・シャンドウィック・ワールドワイド内) 橋本・加藤・今泉

TEL: 03-5427-7311

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

12月31日までの3ヶ月間	連結			GE(a)			金融 サービス (GECC)		
	2012	2011	V%	2012	2011	V%	2012	2011	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 27,080	\$ 26,486	2%	\$ 27,301	\$ 26,743	2%	\$ 29	\$ 32	(9)%
その他の売上	826	259		830	308		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		1,808	1,660		-	-	
GECC のサービス売上	11,421	11,227		-	-		11,741	11,545	
総売上その他の利益	39,327	37,972	4%	29,939	28,711	4%	11,770	11,577	2%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	29,233	28,452		24,418	24,027		5,237	4,883	
支払い利息およびその他の財務費用	2,960	3,231		393	267		2,708	3,128	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	702	711		-	-		713	745	
貸倒引当金	1,163	1,058		-	-		1,163	1,058	
売上原価および費用合計	34,058	33,452	2%	24,811	24,294	2%	9,821	9,814	-9%
継続事業による利益	5,269	4,520	17%	5,128	4,417	16%	1,949	1,763	11%
法人税等引当額 (引当金)	(818)	(467)		(694)	(402)		(124)	(65)	
継続事業による利益	4,451	4,053	10%	4,434	4,015	10%	1,825	1,698	7%
非継続事業による税引利益 (損失)	(305)	(240)		(305)	(240)		(305)	(240)	
純利益	4,146	3,813	9%	4,129	3,775	9%	1,520	1,458	4%
非支配持分の純利益 (損失) を除く	135	83		118	45		17	38	
当社に帰属する純利益	4,011	3,730	8%	4,011	3,730	8%	1,503	1,420	6%
優先株主配当	-	-		-	-		(123)	-	
普通株主に帰属する純利益	\$ 4,011	\$ 3,730	8%	\$ 4,011	\$ 3,730	8%	\$ 1,380	\$ 1,420	(3)%
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 4,316	\$ 3,970	9%	\$ 4,316	\$ 3,970	9%	\$ 1,808	\$ 1,660	9%
非継続事業による税引利益 (損失)	(305)	(240)		(305)	(240)		(305)	(240)	
当社に帰属する純利益	\$ 4,011	\$ 3,730	8%	\$ 4,011	\$ 3,730	8%	\$ 1,503	\$ 1,420	6%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 0.41	\$ 0.37	11%						
希釈化前	\$ 0.41	\$ 0.38	8%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 0.38	\$ 0.35	9%						
希釈化前	\$ 0.38	\$ 0.35	9%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,500	10,591	(1)%						
希釈化前	10,447	10,566	(1)%						
1株当たり配当額	\$ 0.19	\$ 0.17	12%						
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 4,316	\$ 3,970	9%						
調整 (税引後)：営業外の 年金コスト/ (収入)	350	172							
営業利益 (非 GAAP 財務指標)	\$ 4,666	\$ 4,142	13%						
希釈化後1株当たり営業利益	\$ 0.44	\$ 0.39	13%						

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECC間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2011 に掲載されている 2011 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

12月31日までの12ヶ月間	連結			GE(a)			金融 サービス (GECC)		
	2012	2011	V%	2012	2011	V%	2012	2011	V%
売上その他の利益									
商品およびサービス売上	\$ 100,149	\$ 94,523	6%	\$ 100,875	\$ 95,036	6%	\$ 119	\$ 148	(20)%
その他の売上	2,563	5,064		2,657	5,270		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		7,401	6,584		-	-	
GECC のサービス売上	44,647	47,701		-	-		45,920	48,920	
総売上その他の利益	147,359	147,288	-%	110,933	106,890	4%	46,039	49,068	(6)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	110,697	105,640		92,728	86,360		19,512	20,582	
支払い利息およびその他の財務費用	12,508	14,528		1,353	1,299		11,697	13,866	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	2,857	2,912		-	-		2,984	3,059	
貸倒引当金	3,891	3,951		-	-		3,891	3,951	
売上原価および費用合計	129,953	127,031	2%	94,081	87,659	7%	38,084	41,458	(8)%
継続事業による利益	17,406	20,257	(14)%	16,852	19,231	(12)%	7,955	7,610	5%
法人税等引当額 (引当金)	(2,504)	(5,738)		(2,013)	(4,839)		(491)	(899)	
継続事業による利益	14,902	14,519	3%	14,839	14,392	3%	7,464	6,711	11%
非継続事業による税引利益 (損失)	(1,038)	(76)		(1,038)	(76)		(1,186)	(74)	
純利益	13,864	14,443	(4)%	13,801	14,316	(4)%	6,278	6,637	(5)%
非支配持分の純利益 (損失) を除く	223	292		160	165		63	127	
当社に帰属する純利益	13,641	14,151	(4)%	13,641	14,151	(4)%	6,215	6,510	(5)%
優先株主配当	-	(1,031)		-	(1,031)		(123)	-	
普通株主に帰属する純利益	\$ 13,641	\$ 13,120	4%	\$ 13,641	\$ 13,120	4%	\$ 6,092	\$ 6,510	(6)%
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 14,679	\$ 14,227	3%	\$ 14,679	\$ 14,227	3%	\$ 7,401	\$ 6,584	12%
非継続事業による税引利益 (損失)	(1,038)	(76)		(1,038)	(76)		(1,186)	(74)	
当社に帰属する純利益	\$ 13,641	\$ 14,151	(4)%	\$ 13,641	\$ 14,151	(4)%	\$ 6,215	\$ 6,510	(5)%
継続事業による1株当たり利益									
希釈化後	\$ 1.39	\$ 1.24	12%						
希釈化前	\$ 1.39	\$ 1.24	12%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$ 1.29	\$ 1.23	5%						
希釈化前	\$ 1.29	\$ 1.24	4%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,564	10,620	(1)%						
希釈化前	10,523	10,591	(1)%						
1株当たり配当額	\$ 0.70	\$ 0.61	15%						
当社に帰属する利益：									
継続事業による利益	\$ 14,679	\$ 14,227	3%						
調整 (税引後) : 営業外の 年金コスト / (収入)	1,386	688							
営業利益 (非 GAAP 財務指標)	\$ 16,065	\$ 14,915	8%						
希釈化後1株当たり営業利益	\$ 1.52	\$ 1.31	16%						
営業利益 (優先株式償還による影響を除く 希釈化後1株当たり営業利益)	\$ 1.52	\$ 1.38	10%						

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2011 に掲載されている 2011 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約（未監査）

(単位：100 万ドル)	12 月 31 日までの 3 ヶ月間			12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2012	2011	V%	2012	2011	V%
売上(a)						
パワー&ウォーター(b)	\$ 7,652	\$ 7,538	2%	\$ 28,299	\$ 25,675	10%
オイル&ガス(b)	4,548	4,083	11%	15,241	13,608	12%
エナジーマネジメント(b)	1,934	1,954	(1)%	7,412	6,422	15%
アビエーション	5,467	4,924	11%	19,994	18,859	6%
ヘルスケア	5,183	5,163	-%	18,290	18,083	1%
トランスポートーション	1,364	1,464	(7)%	5,608	4,885	15%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(b)	2,068	2,019	2%	7,967	7,693	4%
全産業分野事業セグメントの売上	28,216	27,145	4%	102,811	95,225	8%
GE キャピタル	11,770	11,577	2%	46,039	49,068	(6)%
全セグメントの売上	39,986	38,722	3%	148,850	144,293	3%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(659)	(750)	12%	(1,491)	2,995	U
継続事業による連結売上	\$ 39,327	\$ 37,972	4%	\$ 147,359	\$ 147,288	-%
セグメント別利益(a)						
パワー&ウォーター(b)	\$ 1,747	\$ 1,661	5%	\$ 5,422	\$ 5,021	8%
オイル&ガス(b)	649	567	14%	1,924	1,660	16%
エナジーマネジメント(b)	64	47	36%	131	78	68%
アビエーション	1,039	850	22%	3,747	3,512	7%
ヘルスケア	1,021	953	7%	2,920	2,803	4%
トランスポートーション	252	226	12%	1,031	757	36%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(b)	115	54	F	311	237	31%
全産業分野事業セグメントの利益	4,887	4,358	12%	15,486	14,068	10%
GE キャピタル	1,808	1,660	9%	7,401	6,584	12%
全セグメントの利益	6,695	6,018	11%	22,887	20,652	11%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(1,292)	(1,379)	6%	(4,842)	(287)	U
GE 金利およびその他の金融手数料	(393)	(267)	(47)%	(1,353)	(1,299)	(4)%
GE 法人税引当金	(694)	(402)	(73)%	(2,013)	(4,839)	58%
継続事業による利益	4,316	3,970	9%	14,679	14,227	3%
非継続事業による税引利益（損失）	(305)	(240)	(27)%	(1,038)	(76)	U
連結純利益	\$ 4,011	\$ 3,730	8%	\$ 13,641	\$ 14,151	(4)%

(a) セグメント別利益は、セグメントに関連する売上とその他の収入の両方を含む。セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分、公表済みの GECC 優先株式の配当および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、パワー&ウォーター、オイル&ガス、エナジーマネジメント、アビエーション、ヘルスケア、トランスポートーション、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業（GE キャピタル）で、これは純利益とも言えるものである。セグメント間取引の消去および本社勘定の項目に以前計上されていたランオフ保険事業の業績は現在 GE キャピタルに計上。

(b) 2012 年 10 月 1 日から旧エナジー・インフラストラクチャー・セグメントを、パワー&ウォーター、オイル&ガス、エナジーマネジメントという 3 つのセグメントに再編し、これらを個別に報告することにしました。インテリジェント・プラットフォーム・ビジネスをエナジーマネジメントに移行することで、ホーム&ビジネス・ソリューション・セグメントも再編いたしました。2012 年とそれ以前の業績はこれに基づき報告しています。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約（未監査）
追加情報

(単位：100万ドル)	12月31日までの3ヶ月間			12月31日までの12ヶ月間		
	2012	2011	V%	2012	2011	V%
GE キャピタル						
売上	\$ 11,770	\$ 11,577	2%	\$ 46,039	\$ 49,068	(6)%
セグメント利益	\$ 1,808	\$ 1,660	9%	\$ 7,401	\$ 6,584	12%
売上						
Commercial Lending and Leasing (CLL)	\$ 4,150	\$ 4,392	(6)%	\$ 16,857	\$ 18,178	(7)%
コンシューマー	3,979	3,744	6%	15,579	16,767	(7)%
リアル・エステート	994	878	13%	3,654	3,712	(2)%
エネルギー・フィナンシャル・サービス	422	292	45%	1,508	1,223	23%
GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,397	1,345	4%	5,294	5,262	1%
セグメント利益（損失）						
CLL	\$ 544	\$ 777	(30)%	\$ 2,423	\$ 2,720	(11)%
コンシューマー	755	617	22%	3,240	3,703	(13)%
リアル・エステート	309	(153)	F	803	(928)	F
エネルギー・フィナンシャル・サービス	107	110	(3)%	432	440	(2)%
GECAS	343	315	9%	1,220	1,150	6%

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表（未監査）

(単位：10億ドル)	連結		GE(a)		金融 サービス (GECC)	
	12/31/12	12/31/11	12/31/12	12/31/11	12/31/12	12/31/11
資産						
現金および有価証券	\$ 125.7	\$ 131.9	\$ 15.6	\$ 8.4	\$ 110.2	\$ 124.1
受取手形および売掛金	21.5	19.5	10.9	11.8	-	-
棚卸資産	15.4	13.8	15.3	13.7	0.1	0.1
GECC の金融債権 - 純額	258.0	279.9	-	-	269.0	288.8
固定資産 - 純額	69.7	65.7	16.0	14.3	53.7	51.4
GECC に対する投資	-	-	77.9	77.1	-	-
営業権・無形固定資産	85.4	84.7	56.8	55.9	28.6	28.8
その他の資産	108.3	119.3	38.0	36.7	76.3	88.9
売却対象事業の資産	0.2	0.7	-	-	0.2	0.7
非継続事業の資産	1.1	1.7	-	0.1	1.1	1.7
純資産	\$ 685.3	\$ 717.2	\$ 230.5	\$ 218.0	\$ 539.2	\$ 584.5
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 414.1	\$ 453.4	\$ 17.5	\$ 11.6	\$ 397.3	\$ 443.1
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	28.3	29.8	-	-	28.7	30.2
その他の負債	112.0	114.0	89.1	88.8	28.1	31.6
売却対象事業の負債	0.2	0.3	-	-	0.2	0.3
非継続事業の負債	2.3	1.6	0.1	0.2	2.3	1.5
株主資本	123.0	116.4	123.0	116.4	81.9	77.1
非支配持分	5.4	1.7	0.8	1.0	0.7	0.7
負債および資本合計	\$ 685.3	\$ 717.2	\$ 230.5	\$ 218.0	\$ 539.2	\$ 584.5

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は www.ge.com/ar2011 に掲載されている 2011 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAP データを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC 基準では「非 GAAP 財務指標」として扱われます。こうした非 GAAP 財務指標は、本リリースで発表した GAAP 指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1 株当たり営業利益 (EPS)、2011 年第 3 四半期の優先株式償還による影響を除く 1 株当たり営業利益、2011 年の NBC Universal (NBCU) の売却による税引前利益を除く総売上、産業分野事業セグメントの内部売上成長率、産業分野の営業活動による現金/現金同等物、およびキャッシュフロー (インダストリアル CFOA) の影響を除いた GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI) です。これらのデータは後に最も比較に適した GAAP 基準と照合されます。

営業利益および 1 株当たり営業利益

(単位: 100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	12 月 31 日までの 3 ヶ月間		
	2012	2011	V%
継続事業からの利益	\$ 4,316	\$ 3,970	9%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	350	172	
営業利益	<u>\$ 4,666</u>	<u>\$ 4,142</u>	13%
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.41	\$ 0.37	11%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	0.03	0.02	
1 株当たり営業利益	<u>\$ 0.44</u>	<u>\$ 0.39</u>	13%

(単位: 100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)

	12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2012	2011	V%
継続事業からの利益	\$ 14,679	\$ 14,227	3%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	1,386	688	
営業利益	<u>\$ 16,065</u>	<u>\$ 14,915</u>	8%
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)			
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 1.39	\$ 1.24	12%
調整 (税引後) : 営業外の年金コスト / (収入)	0.13	0.06	
1 株当たり営業利益	<u>1.52</u>	<u>1.31</u>	16%
2011 年第 3 四半期の優先株式償還分を除く	-	0.08	
2011 年第 3 四半期の優先株式償還による影響を除く 1 株当たり営業利益	<u>\$ 1.52</u>	<u>\$ 1.38</u>	10%

(a) 1 株当たり営業利益は項目ごと計算されています。その為、1 株当たり営業利益の数値を足し合わせると合計数値が異なる場合があります。

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト (利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト) を除外します。主要な年金プランのサービスコストおよび、以前サービスコストに含まれていた項目は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP 基準の年金コストにおけるその他項目は主に市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP 基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益による財務指標を、対応する GAAP 財務指標と併せて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

2011年のNBCU売却による税引前利益の影響を除く総売上

(単位：100万ドル)

	12月31日までの12ヶ月間		
	2012	2011	V%
総売上その他の利益	\$ 147,359	\$ 147,288	-%
2011年のNBCU売却による税引前利益の影響を除く	-	3,705	
2011年のNBCU売却による税引前利益の影響を除いた総売上その他の利益 (2011年のNBCU売却による税引前利益を除く総売上)	\$ 147,359	\$ 143,583	3%

事業売却の影響により本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを除外したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様に業績や売上をより正確にご理解頂けると考えています。

産業分野事業セグメントの内部売上成長率

(単位：100万ドル)

	12月31日までの3ヶ月間		
	2012	2011	V%
セグメント売上：			
パワー&ウォーター	\$ 7,652	\$ 7,538	
オイル&ガス	4,548	4,083	
エナジーマネジメント	1,934	1,954	
アピエーション	5,467	4,924	
ヘルスケア	5,183	5,163	
トランスポートーション	1,364	1,464	
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	2,068	2,019	
産業分野売上	28,216	27,145	4%
以下の影響を除く：			
買収、事業売却（投資目的で取得した事業の売却を除く）			
および為替レート	(24)	40	
買収、事業売却 (投資目的で取得した事業の売却を除く) および為替レートを除く			
産業分野事業セグメントの売上（産業分野事業セグメントの本業による内部売上）	\$ 28,240	\$ 27,105	4%

(単位：100 万ドル)	12 月 31 日までの 12 ヶ月間		
	2012	2011	V%
セグメント売上：			
パワー&ウォーター	\$ 28,299	\$ 25,675	
オイル&ガス	15,241	13,608	
エナジーマネジメント	7,412	6,422	
アピエーション	19,994	18,859	
ヘルスケア	18,290	18,083	
トランスポートーション	5,608	4,885	
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	7,967	7,693	
産業分野売上	102,811	95,225	8%
以下の影響を除く：			
買収、事業売却（投資目的で取得した事業の売却を除く） および為替レート	972	1,112	
買収、事業売却 （投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートを除く			
産業分野事業セグメントの売上（産業分野事業セグメントの本業による内部売上）	<u>\$ 101,839</u>	<u>\$ 94,113</u>	8%

内部売上成長率とは、買収、事業譲渡（投資目的で取得した事業の売却を除く）および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを除外したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、産業分野事業の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社の産業分野事業の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長率」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率（絶対数ベース）の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額（ENI）

(単位：10 億ドル)	12 月 31 日 2012
GECC 純資産	\$ 539.2
非継続事業の資産を除く	(1.1)
無利子負債を除く	(57.6)
GE キャピタル ENI	480.5
現金および現金同等物を除く	(61.9)
現金および現金同等物を除く GE キャピタル ENI	<u>\$ 418.6</u>

ENI を使用して GE キャピタルセグメントの規模を測定しています。この測定方法では、通常の業務において資本支出が不要な、既存の無利子負債を調整することができるため、事業に必要な資本（債務または資本）の有効な指標になると考えています。また、将来的に発生する負債満期に備えて債券を発行することにより多額の現金が発生しますが、追加の資本調達のためには使用しないため、現金および現金同等物を除外することで、GE キャピタルセグメントのための資本が必要な資産を効果的に測定できると考えています。この測定方法によって、すでにお伝えしている金融サービスセグメントの縮小規模目標との比較が容易になることから、投資家の皆様にとって有効であると考えます。

インダストリアル CFOA

	12月31日までの3ヶ月間		
	2012	2011	V%
(単位: 100 万ドル)			
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 7,174	\$ 5,513	30%
GECC からの配当を除く	980	-	
GE の営業活動で得たキャッシュから GECC からの配当を除く (インダストリアル CFOA)	<u>\$ 6,194</u>	<u>\$ 5,513</u>	12%

	12月31日までの12ヶ月間		
	2012	2011	V%
(単位: 100 万ドル)			
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 17,826	\$ 12,057	48%
GECC からの配当を除く	6,426	-	
GE の営業活動で得たキャッシュから GECC からの配当を除く (インダストリアル CFOA)	<u>\$ 11,400</u>	<u>\$ 12,057</u>	(5)%

インダストリアル CFOA は GE が営業活動で得たキャッシュから GECC からの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GE から GECC へ販売された GE 顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などの GECC のサービス、ビルや機器 (自動車を含む) の GECC から GE へのリース、GE から GECC への情報技術 (IT) などのサービスの販売、GECC がリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されている GE が製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECC からの配当を除いた、GE の営業活動によるキャッシュフローの比較は投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。GECC からの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに毎月に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には適さない可能性もありますが、GECC から得ている配当の額についての追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス (GECC) のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアル CFOA は、産業事業分野のキャッシュ創出能力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP 基準による CFOA 値を補足するデータを示しています。